

【ICT 活用実践紹介】

【花里小岡田の実践】

教科：図画工作科

活用ツール：MetaMoji ClassRoom のノート

類型：B4（表現・作成）

内容：6年生「私の感じる和」

1. 【準備】自分身の回り（家や学校）にある「和」を感じるものを撮影してくる。
2. 【準備】MetaMoji ClassRoom にノート（個人・クラスページ）を作成しておく
3. 【授業】撮影した写真をMetaMoji ClassRoom に貼り、自分はどの部分がどうなっていてどんな感じがするから「和」を感じたかを書き込む。
4. 【授業】クラスページにも画像を貼り、全体で「色」「形」「イメージ」を交流する。
5. 【授業】感じたことや思ったことをMetaMoji ClassRoom にまとめて書く。

備考：児童によって集めることができる画像が違うので、早めにクラスページにも画像を貼り、「和」を考えられるようにするとよい。

感じたことや思ったことを書きましょう。

私は、「和」の物を集めてみて、意外と身近にある物なんだなと思いました。和の物を聞かれたときに、あまり思い付かなかったけど、家の中をみてみるとたくさんありました。他の人のみてみると、いろんな「和」があって、「確かに」と思う物もありました。

「和」の物の模様は、落ち着いた感じが多いなと感じました。古くから日本に伝わるもので、日本の風景や日本の植物などが描かれている物も多かったです。

私が集めた物の音は、リンリンやチリンチリンといった感じで、模様だけではなく音も落ち着いた感じの物が多いと思いました。色が統一している物が多くて、まとまりのある感じに見えました。

「和」の物の素材は、木や陶器が多かったです。陶器の形とか木の模様とかにも「和」が感じられると思います。

児童の振り返りシート

ワークシート



【花里小岡田の実践】

教科：図画工作科

活用ツール：MetaMoji ClassRoom のノート

類型：B4（表現・作成）

内容：6年生「版で広がるわたしの思い」

1. 【準備】A4サイズのラミネートフィルムを何も挟まずにラミネートをし、透明の板を準備する。
2. 【準備】江戸文様の素材を集めて、MetaMoji ClassRoom のノートに貼っておく。
3. 【授業】自分の好きな江戸文様のパーツを選ぶ。
4. 【授業】パーツを大きくしたり、並び替えたりして自分オリジナルの配置を決める。
5. 【授業】タブレットの上にラミネート、トレーシングペーパーの順に重ね、図案を写す。

備考：その後、図案を版木に写し、彫刻刀で彫る。

【岡田のおもいつ記】

今回の実践では、「私の感じる和」「版で広がるわたしの思い」の2つの題材を続けて行いました。1つ目の実践は、タブレットの持ち帰りが可能になったことでできる家庭学習の一つです。自分の周りだけではなく、仲間の周りにも「和」を感じたり、仲間はどのようなものに「和」を感じているかを知ることができたりします。そして、たくさんものから、形や色などの特徴を見つけることができます。2つ目の実践では、児童の思いや技量によって使いたいパーツや大きさが異なります。タブレットは、パーツの大きさを自由に変えることが容易です。しかし、最終的に版画というアナログで表現するので、ワンクッションが必要でした。そこで、デジタルとアナログの橋渡しをラミネートフィルムが行ってくれました。時間が余った児童はとりのこ紙にどのように刷るかを、パーツを複製して考えていました。特性を理解して、自分の思いを積極的に表現している姿でした。

